

お客様各位

---

## カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

---

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

# RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル  
 株式会社 ルネサス テクノロジ  
 問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/inquiry>  
 E-mail: [csc@renesas.com](mailto:csc@renesas.com)

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-H8*-A336A/J	Rev.	第1版
題名	H8SX/1653、H8SX/1663 グループ ハードウェアマニュアル 8ビットタイマの誤記訂正		情報分類	技術情報	
適用製品	H8SX/1653 グループ H8SX/1663 グループ	対象ロット等  全ロット	関連資料	下記参照	

H8SX/1653、H8SX/1663 グループの8ビットタイマ(TMR)、表 12.2、表 12.3 「TCNT に入力するクロックとカウント条件」に誤記がありましたので、ご案内申し上げます。

- 記 -

**【対象製品】**

- 関連資料 -

H8SX/1653 グループハードウェアマニュアル (Rev.1.00 RJJ09B0245-0100)

H8SX/1663 グループハードウェアマニュアル (Rev.1.00 RJJ09B0319-0100)

【変更前】

表 12.2 TCNT に入力するクロックとカウント条件 (ユニット 0, 1)

チャンネル	TCR			TCCR		説明
	ビット2	ビット1	ビット0	ビット1	ビット0	
	CKS2	CKS1	CKS0	ICKS1	ICKS0	
TMR_0	0	0	0			~省略(変更なし)~
	0	0	1			
	0	1	0			
	0	1	1			
	1	0	0	-	-	TCNT_1のオーバーフロー信号でカウント*1
TMR_1	0	0	0			~省略(変更なし)~
	0	0	1			
	0	1	0			
	0	1	1			
	1	0	0	-	-	TCNT_0のコンペアマッチAでカウント*1
共通	1	0	1			~省略(変更なし)~
	1	1	0			
	1	1	1			

【注】\*1 チャンネル0 のクロック入力を TCNT\_1 のオーバーフロー信号とし、チャンネル1 のクロック入力を TCNT\_0 のコンペアマッチ信号とするとカウントアップクロックが発生しません。この設定は行わないでください。

\*2 ~説明省略(変更なし)~

表 12.3 TCNT に入力するクロックとカウント条件 (ユニット 2, 3)

チャンネル	TCR			TCCR		説明
	ビット2	ビット1	ビット0	ビット1	ビット0	
	CKS2	CKS1	CKS0	ICKS1	ICKS0	
TMR_4	0	0	0			~省略(変更なし)~
	0	0	1			
	0	1	0			
	0	1	1			
	1	0	0	-	-	TCNT_1のオーバーフロー信号でカウント*
TMR_5	0	0	0			~省略(変更なし)~
	0	0	1			
	0	1	0			
	0	1	1			
	1	0	0	-	-	TCNT_0のコンペアマッチAでカウント*
共通	1	0	1			~省略(変更なし)~
	1	1	0			
	1	1	1			

【注】\* チャンネル4 のクロック入力を TCNT\_1 のオーバーフロー信号とし、チャンネル5 のクロック入力を TCNT\_0 のコンペアマッチ信号とするとカウントアップクロックが発生しません。この設定は行わないでください。

【変更後】

表 12.2-1 TCNT に入力するクロックとカウント条件 (ユニット 0)

チャネル	TCR			TCCR		説明
	ビット2	ビット1	ビット0	ビット1	ビット0	
	CKS2	CKS1	CKS0	ICKS1	ICKS0	
TMR_0	0	0	0			
	0	0	1	~省略(変更なし)~		
	0	1	0			
	0	1	1			
	1	0	0	-	-	TCNT_1のオーバフロー信号でカウント*1
TMR_1	0	0	0			
	0	0	1	~省略(変更なし)~		
	0	1	0			
	0	1	1			
	1	0	0	-	-	TCNT_0のコンペアマッチAでカウント*1
共通	1	0	1			
	1	1	0	~省略(変更なし)~		
	1	1	1			

【注】\*1 チャネル0 のクロック入力を TCNT\_1 のオーバフロー信号とし、チャネル1 のクロック入力を TCNT\_0 のコンペアマッチ信号とするとカウントアップクロックが発生しません。この設定は行わないでください。

\*2 ~説明省略(変更なし)~

表 12.2-2 TCNT に入力するクロックとカウント条件 (ユニット 1)

チャネル	TCR			TCCR		説明
	ビット2	ビット1	ビット0	ビット1	ビット0	
	CKS2	CKS1	CKS0	ICKS1	ICKS0	
TMR_2	0	0	0			
	0	0	1	~省略(変更なし)~		
	0	1	0			
	0	1	1			
	1	0	0	-	-	TCNT_3のオーバフロー信号でカウント*1
TMR_3	0	0	0			
	0	0	1	~省略(変更なし)~		
	0	1	0			
	0	1	1			
	1	0	0	-	-	TCNT_2のコンペアマッチAでカウント*1
共通	1	0	1			
	1	1	0	~省略(変更なし)~		
	1	1	1			

【注】\*1 チャネル2 のクロック入力を TCNT\_3 のオーバフロー信号とし、チャネル3 のクロック入力を TCNT\_2 のコンペアマッチ信号とするとカウントアップクロックが発生しません。この設定は行わないでください。

\*2 ~説明省略(変更なし)~

表 12.3-1 TCNT に入力するクロックとカウント条件 (ユニット 2)

チャネル	TCR			TCCR		説明
	ビット2	ビット1	ビット0	ビット1	ビット0	
	CKS2	CKS1	CKS0	ICKS1	ICKS0	
TMR_4	0	0	0			~省略(変更なし)~
	0	0	1			
	0	1	0			
	0	1	1			
	1	0	0	-	-	TCNT_5のオーバーフロー信号でカウント*
TMR_5	0	0	0			~省略(変更なし)~
	0	0	1			
	0	1	0			
	0	1	1			
	1	0	0	-	-	TCNT_4のコンペアマッチAでカウント*
共通	1	0	1			~省略(変更なし)~
	1	1	0			
	1	1	1			

【注】\* チャネル4のクロック入力をTCNT\_5のオーバーフロー信号とし、チャネル5のクロック入力をTCNT\_4のコンペアマッチ信号とするとカウントアップクロックが発生しません。この設定は行わないでください。

表 12.3-2 TCNT に入力するクロックとカウント条件 (ユニット 3)

チャネル	TCR			TCCR		説明
	ビット2	ビット1	ビット0	ビット1	ビット0	
	CKS2	CKS1	CKS0	ICKS1	ICKS0	
TMR_6	0	0	0			~省略(変更なし)~
	0	0	1			
	0	1	0			
	0	1	1			
	1	0	0	-	-	TCNT_7のオーバーフロー信号でカウント*
TMR_7	0	0	0			~省略(変更なし)~
	0	0	1			
	0	1	0			
	0	1	1			
	1	0	0	-	-	TCNT_6のコンペアマッチAでカウント*
共通	1	0	1			~省略(変更なし)~
	1	1	0			
	1	1	1			

【注】\* チャネル6のクロック入力をTCNT\_7のオーバーフロー信号とし、チャネル7のクロック入力をTCNT\_6のコンペアマッチ信号とするとカウントアップクロックが発生しません。この設定は行わないでください。